

## 平成25年度第1回愛知県健康づくり推進協議会議事要約

- 【日 時】 平成25年8月23日（金）  
午後3時から午後4時30分まで
- 【会 場】 愛知県自治センター 会議室I（6階）
- 【出席委員】 18名（◎は会長）  
五十里委員、伊藤委員、岩間委員、黄木委員、大島委員、小木曾委員、  
小野委員、加藤委員、倉田委員、◎田島委員、谷口委員、津下委員、  
中村委員、野口委員、長谷川委員、服部委員、山下委員、横井委員
- 【欠席委員】 3名  
遠藤委員、岡田委員、木下委員
- 【事務局】 15名
- 【傍聴者】 2名

### 【内 容】

#### 1 あいさつ（愛知県健康福祉部健康担当局長 加藤昌弘）

- 本協議会は、健康づくりを疾病対策から健やかな暮らしを支える社会環境整備など幅広い視点で総合的に推進するために開催する。
- 「健康日本21あいち新計画」、「愛知県がん対策推進計画（第2期）」、「愛知県歯科口腔保健推進基本計画」の3計画を本年3月に策定したため、これらの新しい方向性を踏まえて体制を見直した。
- 愛知県が目指す「長生きしてよかったと思えるあいち」を実現するために何が必要なのかを議論し、時代に則した施策の推進を図っていきたい。

#### 2 議題1 協議会長選出

委員の推薦により田島委員を協議会長として選出

#### 議題2 健康づくり関連計画及び健康づくり施策の推進について

##### （1）健康日本21あいち新計画

<主な意見>

- COPDの「発見率の向上」について、目標値を80%としたい。まずは問診票を導入してCOPDの可能性のある人達を把握することが大切である。現状値は3.2%であるので、高い目標ではあるが、10年間で取り組めば達成できると思う。

- COPDの「病院・診療所の連携の推進」については、現状値が把握できていないので、目標設定には時間がかかる。
- あいち健康プラザは、健康日本21あいち新計画の推進拠点として位置づけられている。新計画の目標を達成するため、県の政策に合わせた事業を組み立てていく。
- 県民の健康づくりへの参加意識（自助）を高めることが非常に大切である。
- 新計画では、全てのライフステージにおける健康づくりを推進するという一方で、母子保健分野である「すこやか親子」も包含されているということによいか。  
(→新計画では「すこやか親子」の理念を盛り込んで目標を設定している。)

## (2) 愛知県がん対策推進計画（第2期）

### <主な意見>

- がん検診の受診率を向上させるためには、検診を受けてがんが見つかったらどうしようという不安感を拭い、寿命を延ばすには早期発見が重要であることを啓発していくことが大切である。
- 医療関係者は、正確な情報を発信するとともに、がんを発見した後のケアまで含めた治療等の流れを県民にわかりやすく説明してほしい。
- がん登録後の患者の予後が把握できるようなシステムを作してほしい。
- がん検診受診率向上のためには、一般的なキャンペーンではなく、個人に紐付けするようなキャンペーンを行うとよいのではないかと。特定健診は対象者がはっきりしており、個別に受診勧奨を行うなど、健診を受けやすい体制をつくることのできる。がん検診を受けたかどうかを把握するシステムを作るとよいのではないかと。
- がん検診はリピーターの受診率を高めるのではなく、受けていない人にどう受けてもらうかという対策が必要である。
- がん検診の対象を戦略的に選択するため、“この年代にはこの検診が必要である”というように、各がん検診で指針が出されれば、受診率向上のための対策が取りやすくなるのでは。

## (3) 愛知県歯科口腔保健基本計画

### <主な意見>

- 歯周病の罹患率が一番高いのは40代を過ぎてからであるが、歯科検診が義務づけられておらず、歯を失うリスクが非常に高くなってしまふ。今後対策部会において議論し、対策をしていく必要がある。
- 糖尿病と歯周病の医科歯科連携ということで、愛知県歯科医師会と愛知県が連携して愛知県内の医科歯科連携歯科診療所の名簿を作成する等の体制づくりを進めている。

- 厚生労働省が行っている歯科疾患実態調査では、どの年代においても歯が残る率は確実に高まっているが、逆に歯が残ると歯周病が増えてしまうので、その対策をしっかりと行う必要がある。
- 同じ目的の事業がいくつかあるが、事業を細分化しすぎると主要な事業でなくなる可能性がある。事業の対象を絞り込むなどの方策がたくさんあるのではないか。
- 歯周病と糖尿病の関連ということに関しては、医療従事者の中でも浸透してきている。行政には、歯科からの診療情報提供書といったシステムを統一化して作ってほしい。
- 骨粗鬆症と生活習慣病である糖尿病と歯周病の関連については、全国でおそらく初めて愛知県歯科医師会が提案をされた。国も糖尿病と歯周病の関連に注目している動きがあるようなので、医師会と歯科医師会の御協力のもとでぜひ進めてもらいたい。